

メディカット ガイド ワイヤー

再使用禁止

【警告】

＜使用方法＞

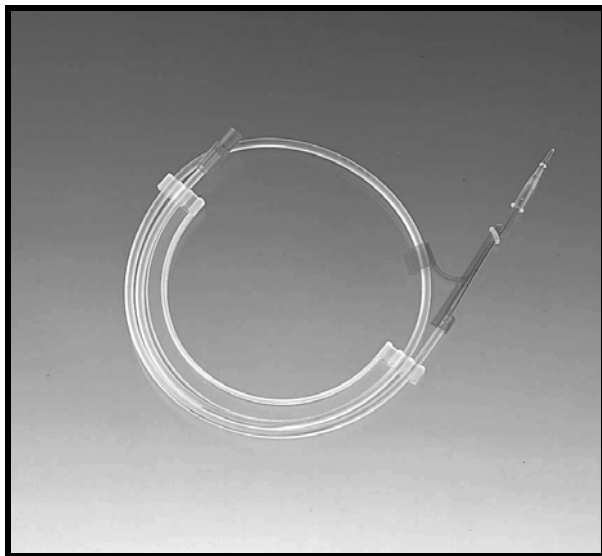
挿入具を介してガイドワイヤ挿入後、抵抗が強く容易に抜去できないときは、ガイドワイヤを無理に引っ張らず、挿入具とともに抜去すること。〔本品を無理に引っ張ると破損したり、先端が切れて血管内に残るおそれがあるため。〕

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- 1.再使用禁止
- 2.再滅菌禁止
- 3.ガイドワイヤ先端の形状を変えないこと。〔ガイドワイヤの損傷や破断の原因になることがあるため。〕
- 4.ガイドワイヤを右心室に挿入しないこと。〔不整脈や心タンポナーデ等を発生させるおそれがあるため。〕

【形状・構造及び原理等】



本品は血管内診断あるいは処置用カテーテルの挿入に使用するコアがステンレス鋼製のガイドワイヤである。
同梱されている製品は直接の包装に記載している。

※〈種類〉

タイプ	カタログ番号	外径:mm (インチ)	長さ (cm)
J型	1-JFC45-18	0.46 (0.018)	44
	1-JFC60-18		59
アングル型	1-AFC45-18	0.44 (0.018)	45
	1-AFC60-18		60
ストレート型	1-SFC20-18	0.44 (0.018)	21

※＜原材料＞

ガイドワイヤ: ステンレス、Ag-Sn合金

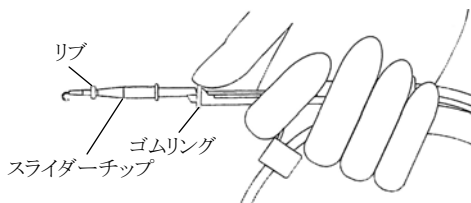
【使用目的又は効果】

滅菌済みであるのでそのまま直ちに使用できる。

【使用方法等】

- 1.ヘパリン加生理食塩液入り注射筒をアダプタよりフラッシュし、保護用シース(以下、ディスペンサ)内に満たす。
- 2.親指で、下図の位置にゴムリングを押し上げる。

図1



- 3.ガイドワイヤ先端が保護用スリーブ(以下、スライダチップ)内にあることを確認する。
 - 4.スライダチップ先端をプラスチックカニューラ又は金属穿刺針に入れてガイドワイヤを挿入する。
なお、ガイドワイヤを金属穿刺針に挿入する際、スライダチップをしっかりと押し込み、ガイドワイヤがブレないように挿入する。また、ガイドワイヤがU字を描いていないか、目的の位置にあるかをエックス線撮影により確認する。
- 〈注意〉ガイドワイヤの挿入はコイル状になっている側から行い、反対側のストレート端から挿入しないこと。
- 〈注意〉ガイドワイヤを挿入する際に抵抗を感じたら、無理せず抜去すること。

【使用上の注意】

不具合・有害事象

本品の操作中に以下の不具合・有害事象があらわれることがあるので、異常が認められたら、直ちに適切な処置をすること。

重大な不具合事象

- ・ガイドワイヤの破損(折れ、曲がり、破断)
- ・ガイドワイヤの抜去困難
- ・ガイドワイヤによるカテーテル破損

重大な有害事象

- ・空気塞栓、血管内壁裂傷、血腫、血管穿孔

【保管方法及び有効期間等】

1.保管の条件

室温下で、水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

2.有効期間

包装上に記載(自己認証(当社データ)による)。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

日本コヴィディエン株式会社

カスタマーサポートセンター: 0120-917-205